



岩江中だより

学校経営基本方針『こころ豊かに』～共に語り合い、共に学び合い、共に成長する学校～

第19号
発行日:平成26年 9月 7日
発行:三春町立岩江中学校
電話:0247-62-8290
FAX:0247-62-8380
E-mail:school@iwae-j.fks.ed.jp

【第2学期の新陣容です。 ～第1学期同様よろしくお願いします。～】

社会では、第2次安倍政権の話で話題を集めておりますが、本校においても、前号で、養護教諭の林先生の休暇に伴い、渡辺千恵養護教諭が赴任したことをお知らせいたしました。その結果、第2学期の陣容は以下のとおりとなりましたので、第1学期と変わらぬご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

職 名	氏 名	担任等	職 名	氏 名	担任等
校 長	佐藤 和典		教 諭	大平 武志	3年副担任
教 頭	渡邊 栄一		主 査	石井 隆義	事務担当
教 諭	木幡 健	教務主任	養護教諭	渡辺 千恵	保健担当
教 諭	石井ゆかり	1年班・1-1担任	特別非常勤講師	春里満喜子	美術
教 諭	伊藤 学	1-2担任	スクールカウンセラー	遠藤紗貴子	
教 諭	鈴木 信行	1年副担任	内部作業員	佐藤香奈子	
教 諭	藤井万里子	2年班・2-1担任	外部作業員	菅野 洋	
教 諭	渡邊 卓也	2-2担任	副主任養護教諭	松本 浩枝	岩江小と兼務
講 師	降矢 治	2年副担任	養護教諭	林 悠	産前休暇中
教 諭	岡本由紀恵	3年主任	教 諭	加藤 知美	育児休暇中
教 諭	海老原 篤	3-1担任	調 理 員	国分 洋子	
教 諭	安藤 喜貴	3-2担任	調 理 員	大河原淳子	
教 諭	宗像 美紀	すみれ担任	調 理 員	七海 栄子	

※ 本たより第1号で、調理員の大河原淳子さんの文字が「敦」となっておりました。お詫びして訂正いたします。申し訳ございませんでした。

【田村支部駅伝競走大会開催 ～男女とも、大健闘でした！感動しました！～】



みなさんへのお知らせが遅くなり申し訳ございませんでしたが、9月4日（木）には、田村市陸上競技場周辺コースにて、第56回田村支部駅伝競走大会、第27回田村支部女子駅伝競走大会が開催されました。

わが岩江中学校からは、男子2チーム、女子2チームが出場しました。本校の規模で、自分自身や記録との挑戦にあえて取り組んだ子どもたち、そして、指導の先生方の心意気に感心します。

当日は、曇り空で、比較的走りやすいコンディションではありましたが、アップダウンの多い難コースに選手は挑み続けていました。

選手たちのがんばりは実に見事で、そのがんばりとひたむきさに、校長も含め、指導の教員一同、涙ぐむほどの感動を覚えつつ、役員としての仕事、引率・応援の仕事に取り組んでいました。

大会をとおして、大きな宝物を得た選手たち、われわれ教員たちでした。感動をありがとう！

【水の事故を繰り返さないために！ ～水の事故が予想される場所はありませんか？～】

夏休みもあと2日を残すばかりとなった8月22日（金）、中学1年生の水難事故の新聞報道が掲載されました。4月には、小学1年生の事故についてお知らせいたしましたが、再び水の事故が繰り返され、本当に残念な思いでいっぱいです。

暑い夏には、涼しい水辺は誰もが近づきたくなる場所でもあります。近づいていけないという話だけでは、水の事故は防ぎきれないということもあります。4月の小学生の事故、今回の中学生の事故、いずれにも共通しているのは、

○子どもたちだけで水辺にいたこと ○友達と複数でいたこと ○近所の人もそこにいることに気づいていたことの3つがあります。大人はずっと見張っているわけにはいけません。危険な場所には近づかないという働きかけと共に、肝心なことは、

- ① 遊ぶ子どもたちの心に、危険を予測したり回避したりできる能力を身につけさせること
- ② 友達同士が安全に気をつけ合い、危ないことはよそうと言い合える友達関係を築き上げる
- ③ 地域が互いに関心を持ちあい危険な場所での遊びにはきちんと注意してもらえる環境づくりに努めること

ではないかと思えます。

先日お願いいたしました、「学区内外水難危険箇所に関する情報提供のお願い」は、今後一切同じような水の事故を起こさないために大切なものだと考えます。危険が予想される場所や条件が、地域にございましたなら、情報としてお知らせいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。いただいたご連絡等は、学校だより等にて必ず全生徒に連絡いたします。

【送迎の際も必ず全席シートベルトを！ ～秋の全国交通安全運動が始まります。～】

お子様の朝晩の送迎にあたりましては、交通道德やルールについてご指導いただき、ありがとうございます。

交通量が多い、朝晩の岩江中学校前ですが、あいさつ運動をしていると、助手席や後部座席に座ってきちんとシートベルトを着用させてくださっている送迎のお車が多い中、稀に、運転席しかシートベルトがかけられていないときもあります。

シートベルトは、いざというときに、かけがえのない命を守る大切な装備です。運転者なさるお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんから、ぜひ、自分の命は自分で守るものだという事をお伝えいただければと思います。

『平成26年 秋の全国交通安全運動について』

1 運動の期間 平成26年9月21日（日曜日）から9月30日（火曜日）までの10日間

※ 交通事故死ゼロをめざす日 9月30日（火曜日）

2 運動のスローガン 「小さくても 大きな安全 反射材」

3 運動の目的 この運動は、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、県民自身による道路交通環境の改善にむけた取り組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

4 運動の重点

（1）運動の基本「子どもと高齢者の交通事故防止」

（2）重点

- ① 夕暮れ・夜間歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ② 全座席シートベルトとチャイルドシート着用徹底
- ③ 飲酒運転の根絶

